



# 避難所の情報バリアフリー化 推進のご提案

NPO法人 ベターコミュニケーション研究会(NPO-BCS)  
理事長・中園秀喜(ペンネーム 岩淵紀雄)

避難所では、情報がないと不安や心配が強くなります。  
特に聴覚障害者は、健康や生命を守る情報も入りにくくなります。  
避難所では、次のような配慮を進めてくださるようお願いいたします。



## 聴覚障害者にとっては 『視覚的な情報』が命綱です。

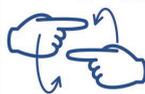
### 見て分かる方法を!!



災害時は津波の到来を放送しても、聴覚障害者は聞こえません。  
避難所で食料や水の配送を放送されても分からないのです。  
このような場面で聴覚障害者は、助けて貰いたいと思っても、  
「手話通訳者」や「要約筆記者」がどこにいるのか等が分からないのです。  
逆に支援に来た人も、何か「目印」がないと、その人が聞こえてない事に気付けません。  
そのために、お互いに何らかの形で識別できる上記のような物が必要です。

### 聞こえません

手話 筆談



で教えてください。  
何が起きていますか?  
どうすれば良いですか?

聴覚障害者用



筆談もします

手話通訳、要約筆記者用

災害はいつやってくるか分かりません。備えは、今から準備が必要です。

## 特に、我々はいつでも使える 蓄光・お助けシール の使用をお勧めしています!



その他、避難所に常備してほしい物を、裏面で紹介しています。

参考にさせていただき、避難所にご用意いただくと、助かります!

※朝日、中日、読売、毎日、時事通信、NHK、TBSラジオなどのメディアでも多数紹介されました。詳しくはお問い合わせください。